

小郡市食と農の複合施設 に関する調査報告会

平成30年6月27日(水)
小郡市 環境経済部 農業振興課

◆これまでの経緯

○H26「小郡市食料・農業・農村基本計画」策定

■大規模農業経営と家族農業経営

↑双方の維持・発展が、農業振興にとって不可欠である。



○H28「小郡市農産物直売所多面的機能実態調査」の実施

■既存の直売所の現状・課題の整理

☆直売所の役割は重要だが、中長期的に課題の解決を図る必要がある。



○H29「小郡市食と農の複合施設基本調査」の実施

■直売所+ α の視点

☆農業振興に寄与する新たな機能（施設）の必要性を整理

◆小郡市の現状と特性

- 九州の縦と横の高速道路が交わる「クロス・ロード」に位置している。
- 福岡都市圏や久留米市に近く、交通の便が良いことから、ベッドタウンとして成長してきた。
- 農業が基幹産業であり、米・麦・大豆を中心に多くの農産物が生産されている。



◆小郡市の課題

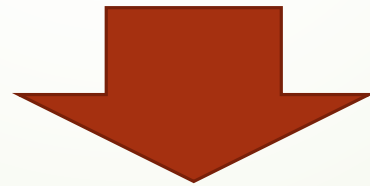
- 「交通至便」であるにも関わらず、多くの人やモノを呼び込む機能（施設）が整備されていない。
- 地域を代表する「ブランド農産物」や「特産品」が少ない。
- 豊かな自然環境（花立山、宝満川、田園）を活かしたまちづくりが不十分である。
- 歴史的建造物（神社・仏閣、松崎宿、小郡官衙遺跡）をはじめとする観光資源がありながら、知名度は高くない。

◆小郡市の現状・課題（まとめ）と**対策**

分野	現状と課題	対策
地勢・土地利用	・ <u>宝満川や花立山等の豊かな自然環境がある。</u>	・ 自然環境の活用 を旨としソフト面の充実を図る。
交通	・ <u>交通至便な「地の利」を活かした地域の特徴づくりが打ち出せていない。</u>	・ 「クロスロード」の地の利を活かしたまちづくり を行う。
人口	・ 少子高齢化が進行し、人口は緩やかに減少することが想定される。	・ 若年層を呼び込むことの出来る魅力的なまちづくりを進める。
産業（農業）	・ <u>地域を代表するブランド農産物が少ない。</u>	・ 農産物のブランド力を高める とともに、特産品の開発を進める。
産業（観光）	・ 歴史・文化的資源に代表される <u>観光資源が点在しているが、市内外住民の認識は十分ではない。</u>	・ 「食」をテーマに 新たな観光の特色 を作り出し、それをツールに市内の多くの 観光資源をPR する。
地域ブランド力	・ 地域ブランド力は高いとは言えない。	・ 認知度、魅力度、情報接触度等を向上させ、地域ブランド力の向上を図る。
広域集客・交流機能	・ <u>広域集客・交流のための機能及び施設が整備されていない。</u>	・ ハード面のみならず、 広範囲に訴求する魅力づくり（ソフト面の充実） を図る。
雇用	・ 市民アンケートでは、雇用の場の創出を求める意見が多い。	・ 農商工連携を用いた地域振興を推進し、雇用機会の増大を図る。

◆課題解決のため必要な機能（施設）とは

- 小郡市の「地の利」を活用した、市内外から「にぎわい」を呼び込む機能（施設）
- 基幹産業である農業を活かし、農業振興・農業所得の向上を促す機能（施設）
- 小郡市が持つ「資源」（自然環境、観光資源）の情報を発信するとともに、それらを活用する機能（施設）



これらの機能を持った施設を整備することで...

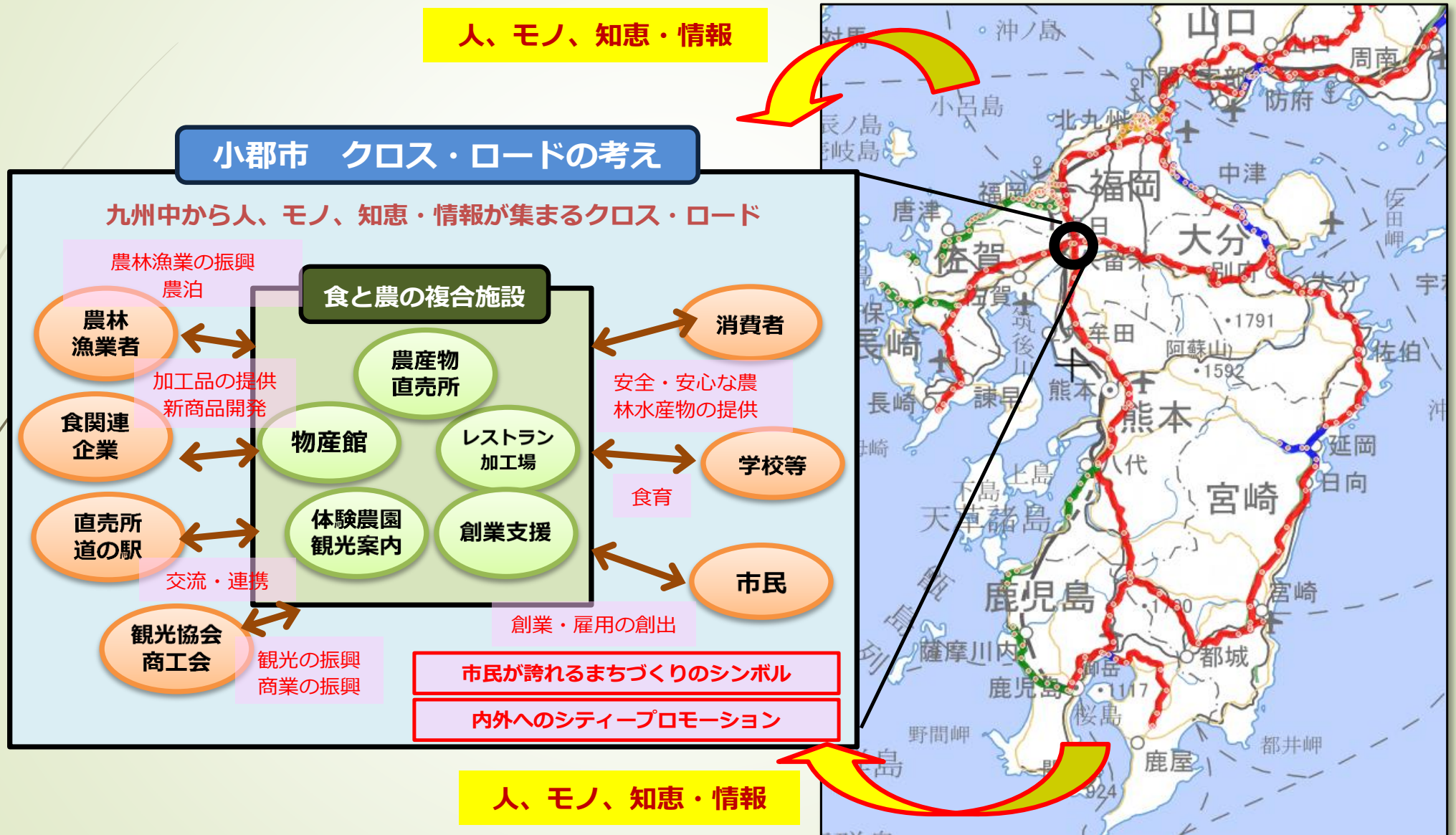
☆小郡市の「ブランド力」や「知名度」を向上させ、産業（農・商・工）の振興を図ることができる。

◆施設の基本コンセプト

『クロス・ロードの地の利を活かして
人・モノ・情報・知恵（技術）を呼び込む
拠点となる食と農の複合施設』

☆小郡市の「地の利」と、基幹産業である「農業」を活かしつつ、消費者の関心度が高い「食」の機能を兼ね備えた施設にすることがふさわしいと言える。

◆基本コンセプトのイメージ図



◆施設の4つの目標

目標1

市内農業の活性化と賑わいづくり

目標2

市内の観光資源と豊かな自然環境の有効活用

目標3

地域ブランド力の向上と特産品開発

目標4

雇用創出と創業支援

◆ 目標達成のための4つの基本方針

地元産品及び九州各地の物産の販売

- 農産物や特産品の販売拠点とし、農業活性化と賑わい作りの拠点とする。
- 既存の直売所等と連携する。
- 市内の事業者が集い、連携を創出する。
- 九州各地から優れた食の特産物等を集めた「九州の匠」商品販売する。

着地型観光とアウトドア体験の推進

- 豊かな自然環境や観光資源を活用し、着地型観光の拠点とする。
- オートキャンプ場、RVパーク等の「アウトドア体験」が可能な施設とする。
- 「食」のニーズが高まっていることをふまえ、「農」「食」「観光」の連携を図る。

特産品開発と6次産業化推進

- 商品開発の研究・加工の場として活用することで、農産物の商品開発を促進する。

民間活力の活用

- 新施設が持つ各種機能の企画及び運営等について、民間事業者の活用を検討する。

◆他市町村の先進事例（参考）

項目	施設の態様	事例一覧
①道の駅・直売所等	「重点道の駅」や「モデル道の駅」に選定されている施設もしくは地域商社機能を備えている直売所等	<ul style="list-style-type: none"> ①道の駅うつのみやろまんちっく村 ②平田観光農園 ③伊賀の里モクモク手づくりファーム ④おおむら夢ファーム シュシュ ⑤道の駅川場田園プラザ ⑥道の駅内子フレッシュパークからり ⑦道の駅どまんなかたぬま ⑧道の駅発酵の里こうざき ⑨うなぎの寝床 ⑩里山商会KOKURA ⑪伊都菜彩 ⑫さいさいきて屋 ⑬農協市場館 六甲のめぐみ ⑭ファーマーズマーケットいとまん うまんちゅ市場 ⑮道の駅うきは
②着地型観光の拠点	観光情報発信拠点としての機能を有し、着地型観光の拠点である施設	<ul style="list-style-type: none"> ⑯道の駅「花の駅・千曲川」 ⑰道の駅四万十とおわ
③アウトドア拠点施設	自然環境を活かし、「食と農」をキーワードにしたアウトドアサービスを提供している施設	<ul style="list-style-type: none"> ⑱ザファーム ⑲中伊豆ワイナリー Chateau T.S ⑳ぶどうの樹 海岸通り グランピング福岡 ～海風と波の音～

①道の駅うつのみや ろまんちっく村

46haの滞在体験型ファームパーク

「道の駅うつのみやろまんちっく村」は、人と地域と豊かな里山にふれあう道の駅。46ha(東京ドーム10個分)という広大な面積の中に、農産物直売所や地物の食材が楽しめる飲食店だけでなく、体験農場や森遊び、ドッグラン、温泉やプールに宿泊施設がある滞在体験型ファームパークです。

私たちがお伝えしたいのは「食と農」によるおもてなし。

だからここには、都会的な日常では経験できない豊かな里山農村の日常があります。

そして故郷に似ている「やさしい時間」があふれています。

さあ、次のお休みは、ろまんちっく村に帰ってきませんか？

里のエリア

里のエリアは、鏡川沿いに広がる体験農場や生産農場、広大な広場など里山の農村の風情がたっぷり味わえる、遊びと学びのエリアです。

(詳しくはマップCへ)

ヴィラ・デ・アグリ

集落のエリアにある、温泉・プールを備える宿泊棟です。和テイストの中にとどなく無国籍な雰囲気をもつ癒しの空間。お気軽にご利用ください。

(詳しくは、パンフレットの裏面へ)



集落のエリア (詳しくはマップAへ)

集落のエリアは、ろまんちっく村の賑わいの辻。インフォメーション・買い物・食事・多目的ドームから温泉宿泊棟などが揃うエリアです。

買う

地域風土が育てた豊かな素材。生産者が丹精こめた新鮮野菜や花、加工品、工芸雑貨や地酒など、栃木ならではの買物の楽しみをお届けします。

食べる

地物の野菜を中心に、ヘルシーでこだわりの料理。旬に味わえる食の贅沢を感じてください。ここでしか味わえないこだわりの食をお届けします。

遊ぶ知る体験する

忘れがちな里山の遊びや自然からの学び。お子様から大人まで、遊びながら学べる、季節ごとの数々のアクティビティ(体験)をお届けします。

癒し

天然温泉やスパ、森林浴など、ろまんちっく村ならではの癒しのスポット。四季折々の景色を楽しみながら、里山ならではの癒しをお届けします。



ろまんちっく村 クラフトブルワリー



地元農林業の振興・地産地消を推進し、二条大麦(ビール麦)の産地、栃木県産宇都宮産の麦芽を使用したこだわりのビール造りを行っています。出来立て新鮮・麦のうまみたっぷりの手造りビールをお楽しみください。



Local Business Frontier

—日本のローカルをワールドクラスにする地域商社—
私たちは様々な地域資源の魅力を掘り起こし、地域から全国に、そして世界へとつなぎます。

トチキフト

むすぶ・つなぐ・場づくりによる
「地域総合プロデュース」



弊社の食農支援事業をはじめとする各種支援事業では、「むすぶ・つなぐ・場づくり」という役割を果たしながら、地域の高付加価値化創造や、拠点づくり、経営診断、地域人材育成等の総合プロデュースを実現しながら、地域や企業の活力創造のお手伝いをさせていただきます。



地域ブランド創選と出口戦略を担う
「地域商社」



地域発信型商品やサービスの課題は、積極的な出口戦略が重要です。弊社では、それらの地域をまるごと売り込む専門商社「地域商社」として、弊社運営の各店舗やWEBや各メディアを通して、地域ブランドの創選と発信を展開しております。

農業による

「ファーミングエンターテインメント」の提案



弊社は、道の駅内の自社農場を中心に県内に約4町歩の農場を運営、その他にクラインガルテンや市民農園等270区画のレンタル農場を運営しております。自社による生産販売だけでなく、体験農業・食農教育・担い手育成等、交流を通じた新しい農業の提案を実施しております。



道の駅(地域6次産業化拠点施設)を核とした
「地域経営」



弊社が運営する「道の駅うつのみやろまんちっく村」では、地域の6次産業化創選拠点として、地域農産物の付加価値創造への取り組みを実現しております。付加価値商品の開発や、担い手支援、里山づくり、着地型観光などを通して、道の駅を集客の装置とした様々なプロデュースを実施しております。



驚きと発見、美味しさと感動に出会う
「着地型観光」



弊社の取り組み着地型観光は、一味違う地域の魅力を深掘りした旅を提案しております。一般の旅行では経験できないご当地の深い魅力をお届けする体験プログラムは、参加者が物語の主人公となり、ナビゲーターと地域プレーヤーが感動の世界に導きます。

二条大麦の大産地だからこのこだわり
「クラフトブルワリー」

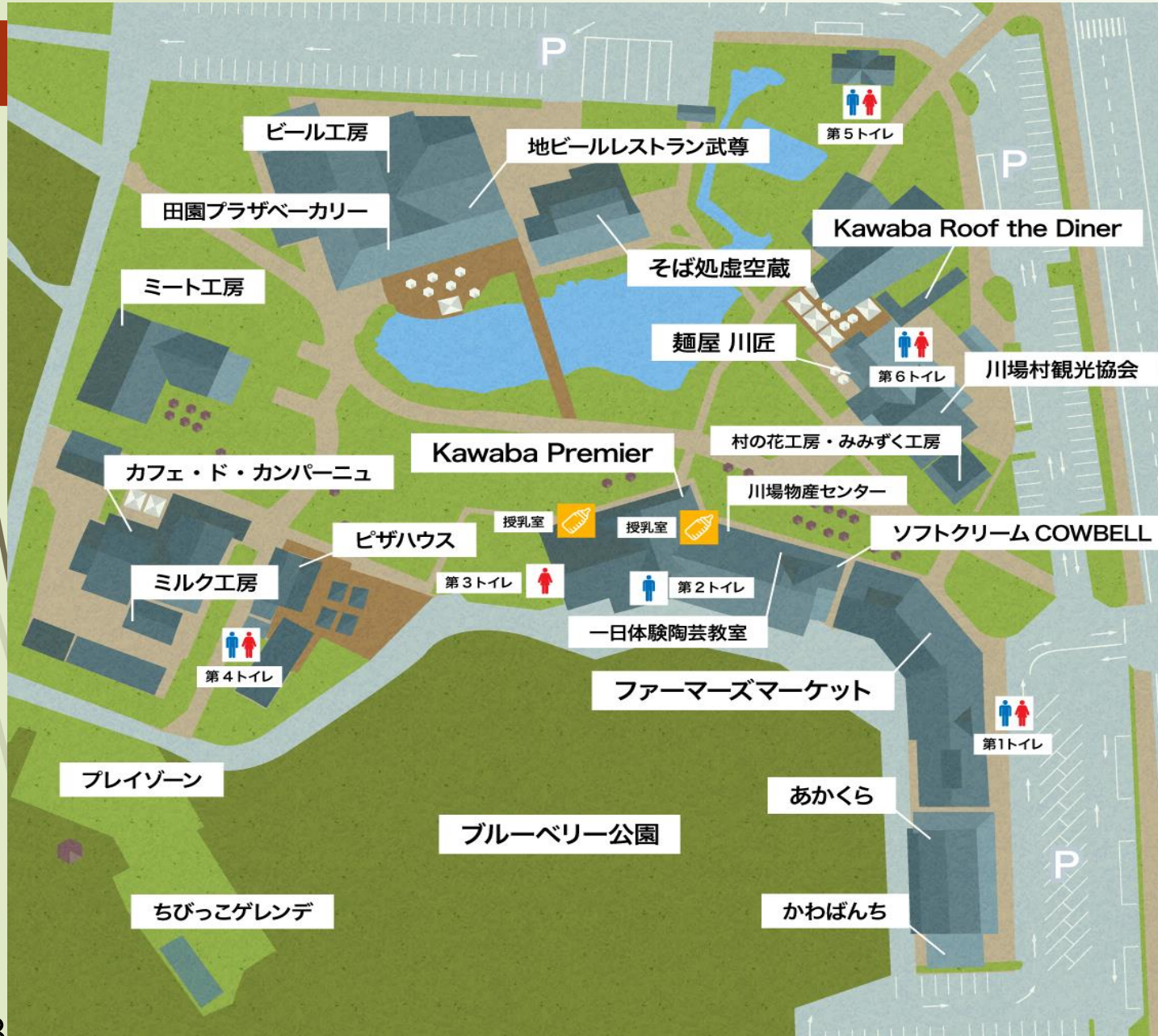


ビール麦の大産地である栃木県、弊社は素材を通したものがけに徹底してこだわったブルワリーです。ホップの自社栽培をはじめ、自社精麦による高機能ビールの開発や、各地の素材を使ったご当地らしいこだわりのビールを醸造販売しております。

農業と食、地域資源を結び総合プロデューサー
株式会社ファーマーズ・フォレスト
えにしトラベル(栃木県那須野上原市那須町西254)

【本社】〒251-2118 栃木県那須野上原市那須町西254
TEL:028-663-8800 / FAX:028-663-8078 / http://www.farmersforest.co.jp / info@farmersforest.co.jp
【群馬支店】〒904-2212 群馬県うま市宇田場1304-1 1F
TEL:0985-889-7610 / FAX:0985-889-7612
【東京オフィス】〒104-0032 東京都中央区八丁2-11-8 1F 平澤ビル6F
TEL:03-6228-3952 / FAX:03-6228-3973

⑤道の駅 川場田園プラザ（群馬県利根郡川場村）

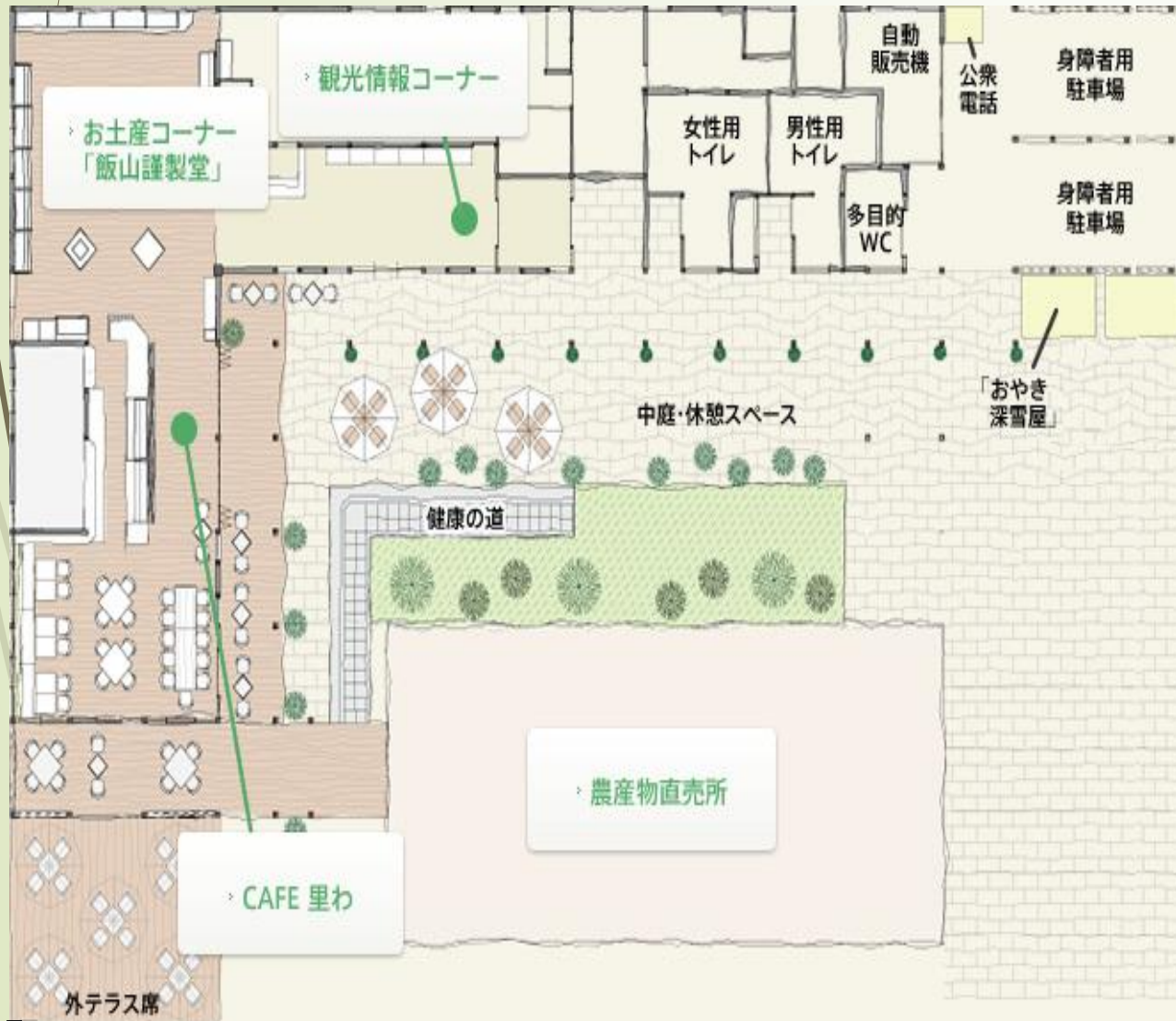


⑥道の駅内子フレッシュパークからり（愛媛県内子町）



 <p>からり直売所 旬の野菜・果物をはじめ加工品・花卉を販売中。</p>	 <p>レストランからり 素材を引き立てる料理を提供しております。</p>	 <p>からり燻製工房 職人の自信作を是非ご堪能下さい。</p>
 <p>からりパン工房 焼きたてのパンを多数ご用意しております</p>	 <p>からりシャーベット工房 旬の食材を使用し製造したアイス・シャーベット</p>	 <p>ハンバーガーショップからり 大人気の「内子豚もろみ焼きバーガー」などを販売</p>
 <p>からり加工場 契約農家の栽培した野菜を加工販売しております。</p>	 <p>うどん処 あぐり亭 「もち麦」を使った「うどん」を提供</p>	 <p>あぐり 「大判焼き・たこ焼き」焼きたての「たこ焼き」「大判焼き」を販売</p>

①6道の駅 花の駅 千曲川 (長野県飯山市)



⑱ ザファーム (千葉県香取市)



大型テントにベッドも入ってる
ワンランク上の豪華キャンプを満喫

THE FARM LUXURY CAMP
ザファームキャンプ
THE FARM CAMP

ザファームキャンプ(グランピング)は
リバーサイド、ジュニアスイート、
クリフスイート、ヴィラ、フォレスト
の5種類あります。



フォレスト 森の中。1日1組だけのプライ
ベイトサイトで過ごす豪華なキャンプ



リバーサイド
川沿いに並ぶ16棟の豪華なキャンプ

日々の喧噪を離れ、大切な人と過ごす。

少し早起きをして畑の中をゆっくりと散歩する。自然に触れ合えるひと時。
何かを足すのではなく、余分なものをマイナスしてくれる。そんな時間が貴方を待っています。

園内マップ
Information Map

THE FARM
AGRICULTURE PARK CHIBA SATOYAMA

施設案内:
 ● レストラン ● トイレ ● 自動販売機
 ● 駐車場 ● 温泉 ● シャワー ● 喫煙所
 ● 個人貸農園エリア ● 会員様貸農園エリア
 ● ジップスライダー乗り場 ● 田んぼエリア

活動エリア:
 ● ザファーム・キャンプ(リバーサイド) ● ザファーム・キャンプ(フォレスト)
 ● フッシュクラフトエリア ● ミニ牧場 ● コテージ
 ● ザファーム・キャンプ(ラウンジ) ● アスレチック ● ジップスライダー ● 収穫体験エリア ● ザファーム・カフェ ● 天然温泉(かみの湯) ● 管理センター ● アウトドアBBQクッキングエリア ● コテージラウンジ多目的室

その他:
 ● ファイアープレイス ● ジュニアスイート/フォレスト/ジュニアスイート/クリフスイート/ヴィラ (5カ所のCAMP受付はこちら) ● ジュニアスイート 4棟 ● クリフスイート 3棟 ● ヴィラ 2棟 ● BBO 農業体験 イベントの受付はこちら ● コテージチェックイン お部屋の見学はこちら ● 農園 ● ドッグラン



◆ 提案する 3 つのビジネスモデル

モデルA

特産品の開発・流通促進モデル

モデルB

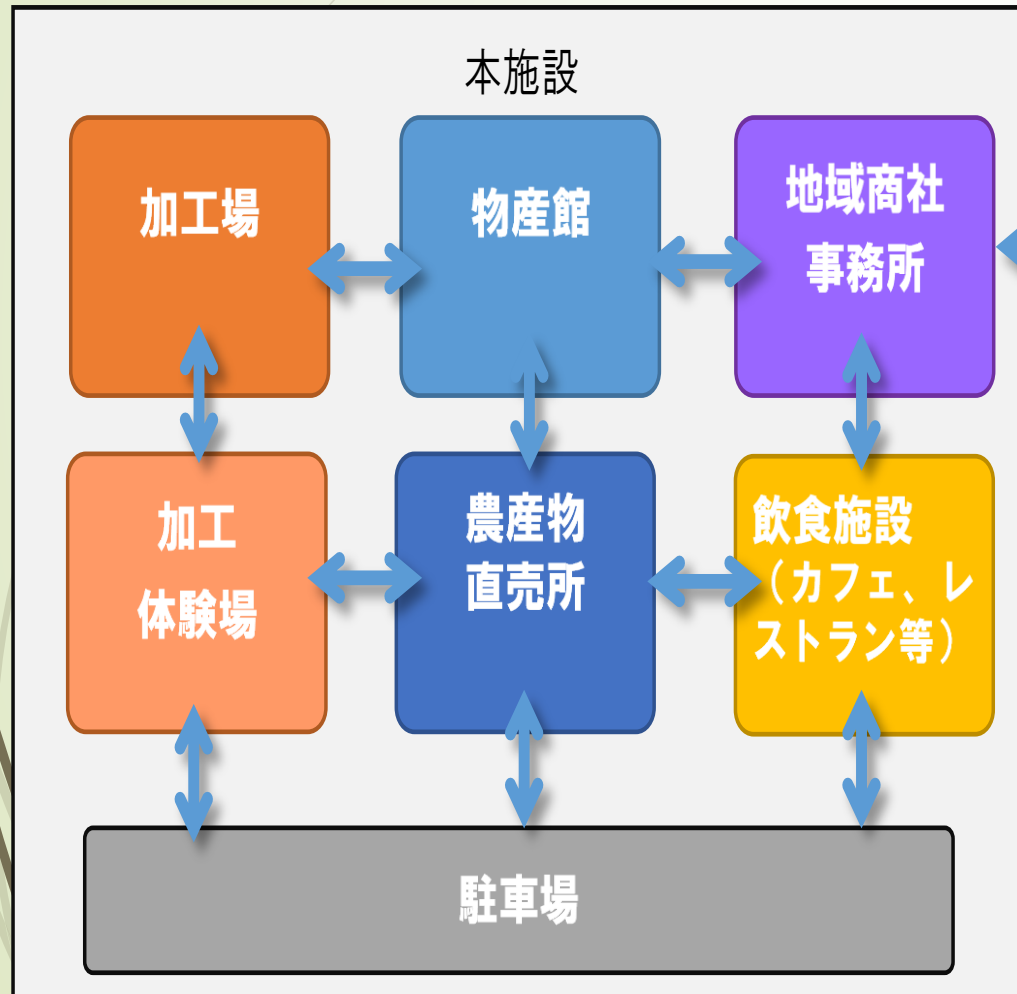
着地型観光の拠点モデル

モデルC

アウトドアライフ体験拠点モデル

モデルA

特産品の開発・流通促進モデル



・農産物直売所や物産館、飲食施設等を中心とする。

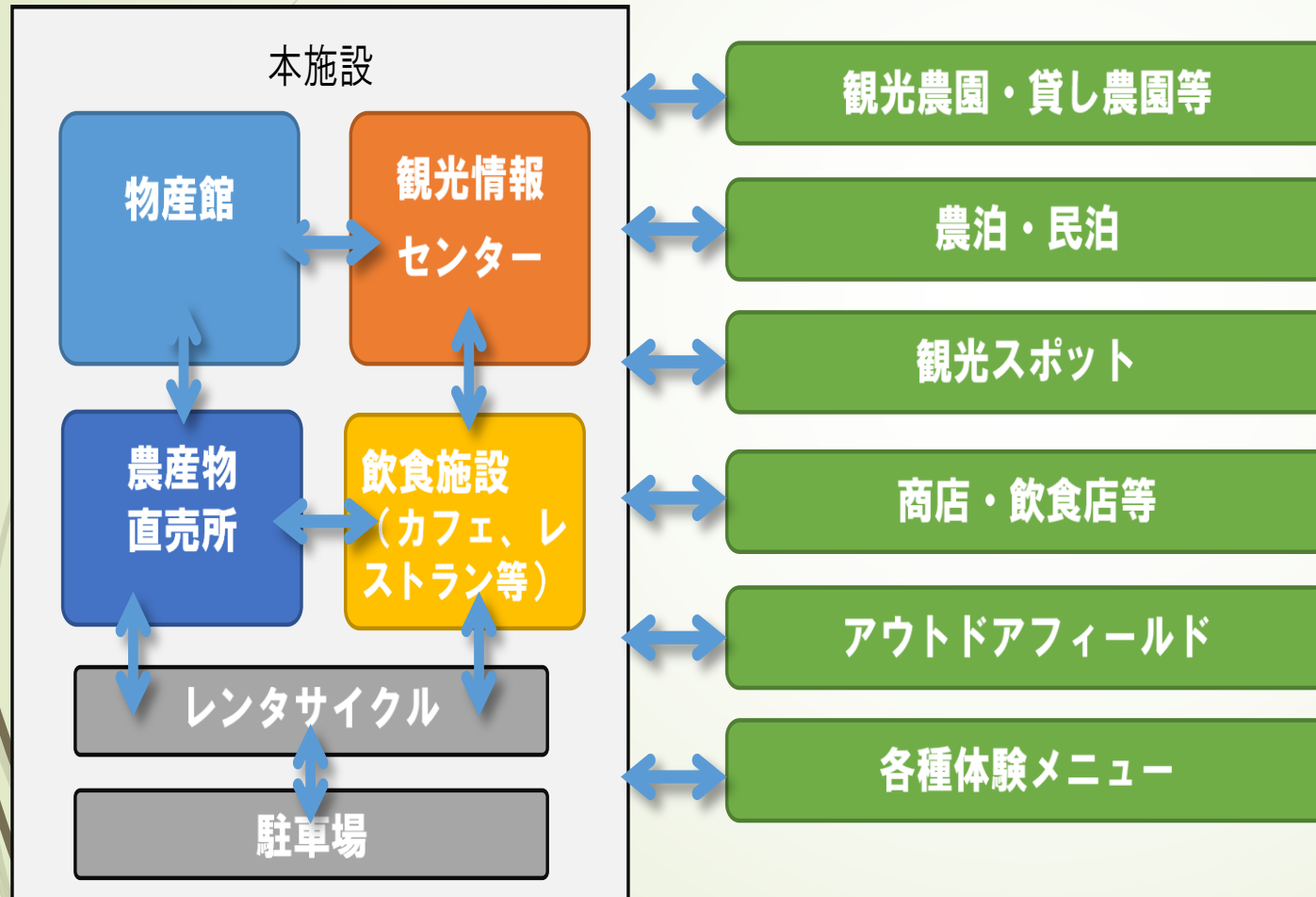
・九州各地から、優れた食の特産物やお土産等（九州の匠）を集め、仕入から販売までを行う。

・特産品の開発・加工を行う「加工工場」や、商品流通の拠点となる「地域商社」の機能を設置する。

☆新たな特産品の開発を行うと同時に、他の「道の駅」や地域商社等と連携し、品揃えの強化や販路開拓を行う。

モデルB

着地型観光の拠点モデル



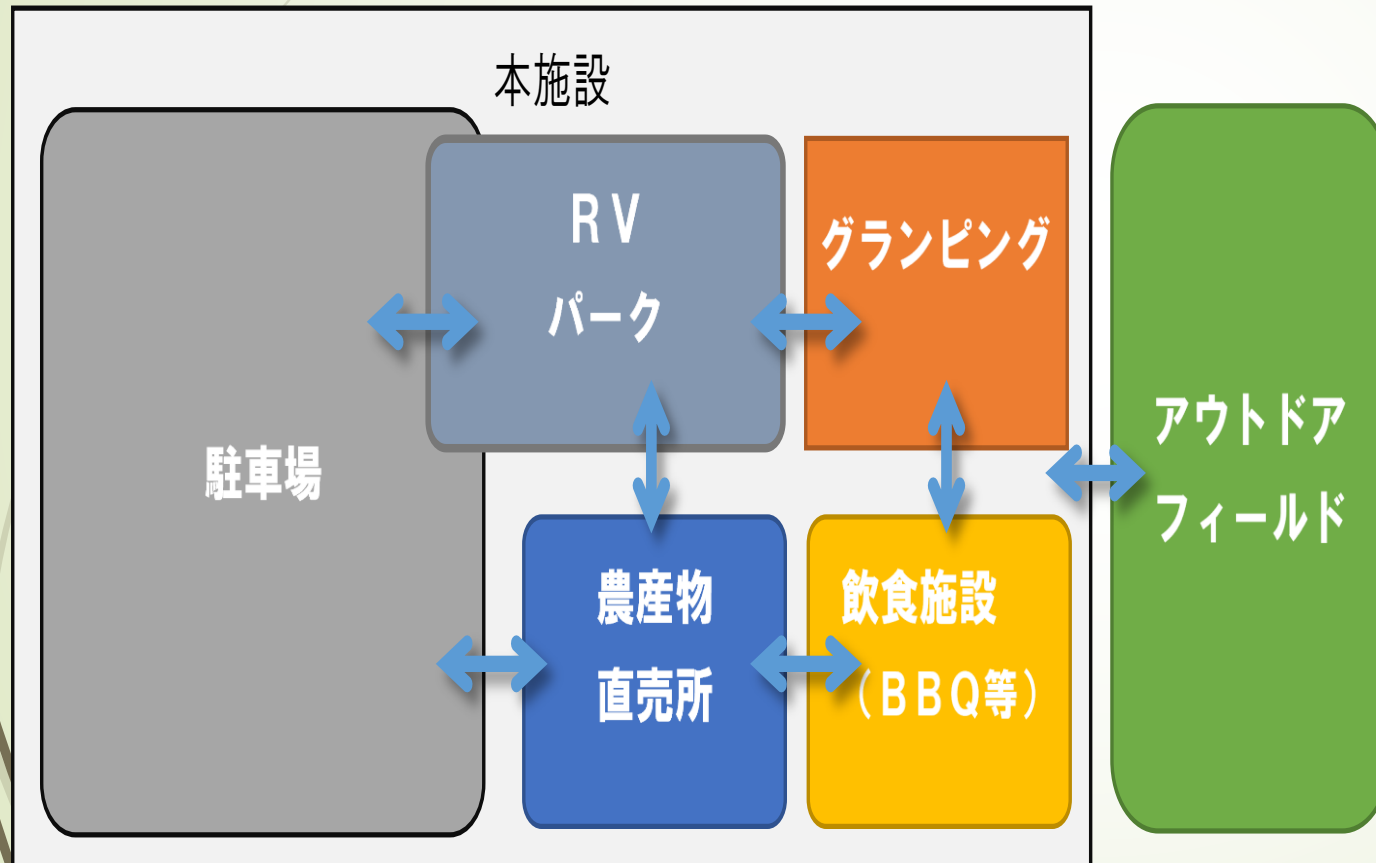
・着地型観光を促進するために、発着地機能や情報発信機能の役割を果たすための拠点を設置する。

・観光客の回遊性の上昇を目指し、市内及び近隣市町の観光資源等との連携を図る。

☆「食」や「農」の素材を、観光資源として磨き上げるためのプラットフォームを構築する。

モデルC

アウトドアライフ体験拠点モデル



・交通の利便性が高く、かつ、豊かな自然が残っているという市の魅力を活かした施設を設置する。

・「グランピング」や「RVパーク」の要素を取り入れた施設を設置し、都市住民が気軽にアウトドアライフを楽しめる場とする。

☆「アウトドア」と「食」を組み合わせた「体験」の提供が可能な機能を設置する。

◆近隣市町の（競合）施設との関係

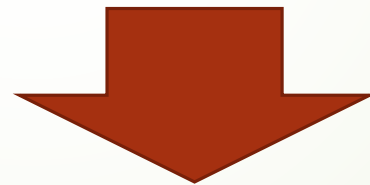
○近隣市町の「道の駅」と農産物直売所：

10km圏内：6施設（道の駅くるめ，みなみの里など）

20km圏内：2施設（三連水車の里あさくら，道の駅吉野ヶ里など）

さらに

○産直コーナーを設けたスーパーマーケットも多数立地している。



☆一般的な「道の駅」（農産物直売所&レストラン&観光情報センター）の機能のみでは、競争に負けてしまう可能性がある。

◆ 調査報告のまとめ

「基本コンセプト」「目標」「基本方針」を体現する上で、各ビジネスモデル単独では不十分である。



モデルAを軸とし、B,Cの機能を複合させた施設とすることが望ましい。

※ただし、全ての機能を同時に整備することは難しい。

☆選択する**モデル**やその**優先順位**、必要とする**機能**や複合的な**効果**等について、今後、十分に研究・検討を行う必要がある。